

木の家住む住む

発行：株式会社山田工務店

社長の 一棟入魂!!!

朝夕日ごとに涼しくなり、いくらか過ごしやすくなってまいりました。日頃は大変お世話になりありがとうございます。

さて先日、徳島県知事室に弊社大工製作の家具を搬入させて頂きました。その家具は、徳島すぎ大径木を柱目に製材し、弊社開発の

『徳島すぎ柱目幅はぎパネル「MASAKI」』でつくった家具です。来訪者に徳島の物産品を紹介する陳列棚として使用されるそうです。

日本の面積の2/3は森林です。戦後人工的に植えられた木は、今がまさに伐採の時。本来であれば、山から伐り出してどんどん使われるはず

でした。しかし、安価な外国材が市場に行き渡り、国産材が持つ品質の良さが十分に理解されないまま杉の大径木（たいけいぼく。丸太末口で40センチ程度以上）は行き場を無くしています。

構造材、下地材、化粧材（建具材や一枚板）。あらゆるものに形を変えて、国産材は日本の山に

利益を返してくれます。先人が苦勞して大きく育てた大径木を最後まで有効

に価値ある活用ができないか。そんな思いから、『徳島すぎ柱目幅はぎパネル「MASAKI」』の制作にいたり

ました。

「MASAKI」を通して多くの人に、人と自然が育んだ大径木（柱目）ならではの良さを知ってほしいです。

山田文夫



たかが工務店、されど工務店

文：山田加容子

二兎追うものは一兎も得ず

無事に簿記試験も合格し、会計ソフトもなんなくこなし、月日が流れていきました。

その頃、私はピアノ講師をしながらの会社手伝いが、限界になり、色々悩む時期がやってきました。当時、会社体制は殆ど外注で、常用の外注大工が10人程。事務員1人、後は家族。子育てに重きを置いていたので、なかなか思うように捗らず、何を優先するかとなれば当然会社となります。その頃、お義母さんも、祖父母達の介護等で会社の仕事も私に一任するようになり、あてに出来ない時期もありました。音楽も辞めたくなかったし、またいつかできると言う気休めは、当時の私には断腸の思いで決断したように思います。この決断も後に後悔する事となろうとは、よもや思うはずのない私なのでした。

暮らしのコラム

朝ごはんはパン？ご飯？

朝ごはんはエネルギー源なので、できればパンよりごはんのほうがベターです。朝ごはんはエネルギーを補給するために意識してほしいのは「水分、糖質たんぱく質」です。朝起きた身体の中は、空っぽに近い状態なので水分が必要ですし、脳にエネルギーを与えるために、糖質は欠かせません。そして、とくに大事なのがたんぱく質です。特に成長期の子どもにとって、たんぱく質は欠かせない栄養素。朝、たんぱく質を補うことで、寝ている間に下がっていた体温が上がり代謝量もアップします。日頃から、納豆、かまぼこ、ちくわ、しらす魚肉ソーセージなどを常備しておくのがおすすめです。これらは、そのまま出すだけでたんぱく質が補えるので、時間が無い朝の心強い味方です。